

## 北九州で産出した火山噴出物や火成岩から当時のようすを考えよう

(1) アースモール「地球の形成」で、火成岩に含まれる鉱物をスケッチし、形や色の違いを調べよう。

	(例：黒雲母角閃石安山岩)	(例：石英斑岩)	(例：角閃石花崗岩)
鉱物のスケッチ	※ 含まれる鉱物の形や色などをスケッチさせる。		
鉱物の特徴	※ 形や色の違いに注目して、気が付いたことを記入していればよい		

(2) 火成岩の観察をして気づいたことや感想などを書きましょう。

※ 火成岩によって含まれる鉱物の種類に違いがあることが記入されていればよい。

(3) エンバイラマ館「白亜紀ゾーン」「リサーチゾーン」を見学して、太古の北九州はどんなようすだったのでしょうか。予想されることを書きましょう。

※ 九州全体で火山活動が活発で、北九州の近くにも火山があったことが記入されていればよい。

(4) 自然発見館やリサーチゾーンには、写真のような北九州で発見された火山噴出物や火成岩があります。名前や時代、産地を調べましょう。

火山噴出物等			
名前	紡錘形火山弾(玄武岩)	多孔質溶岩(玄武岩)	火山灰
時代	新生代(約 250 万年前)	新生代(約 250 万年前)	新生代第四紀 更新世
産地	八幡西区浅川 日ノ峰山	八幡西区浅川 日ノ峰山	小倉南区貫川遺跡

(5) これまでの学習から、太古の北九州の火山活動について予想されることを書きましょう。

※ (4)より、北九州にも大小の火山が存在し、約 250 万年前(新生代)に噴火活動があったことが記入されていればよい。